



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場会社名 ヘリオス テクノ ホールディング株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6927 URL http://heliostec-hd.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)齊藤 定一  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役統括管理部長 (氏名)川坂 陽一 (TEL) 079(263)9500  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	9,138	22.8	1,081	30.2	1,031	24.7	713	26.4
28年3月期第2四半期	7,438	32.7	830	559.9	826	825.4	564	195.1

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 690百万円(22.4%) 28年3月期第2四半期 564百万円(218.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	39.74	39.58
28年3月期第2四半期	31.66	31.37

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	13,104	9,065	69.1
28年3月期	14,663	8,645	58.9

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 9,059百万円 28年3月期 8,638百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,400	△32.5	1,350	14.2	1,290	10.4	850	5.2	47.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	22,806,900株	28年3月期	22,806,900株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	4,838,710株	28年3月期	4,838,710株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	17,968,190株	28年3月期2Q	17,835,103株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社では、第2四半期及び期末の決算について、アナリスト向け説明会を開催しております。決算説明会で配付した資料を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの主要マーケットである液晶パネル用設備投資は、G8.5、G10用を中心に活発に推移しており、また今後も継続すると思われまます。有機ELパネル用の設備投資も活発になってまいりました。

このような経営環境のなか、当社グループにおいては、配向膜用フレキシ印刷装置及び露光装置用光源ユニット、また、有機ELパネル用では、精密インクジェット印刷機等の売上が引き続き好調に推移しています。また加うるに、今年発生した台湾南部地震により破損した設備復旧の特需も業績に寄与しました。受注も引き続き順調に推移しており、当第2四半期連結会計期間末現在で42億40百万円となっています。また、今後増加すると見込まれる中国向け中古装置の輸出に備えて、専門技術を有する株式会社リードテックを買収しました（平成28年10月1日株式取得）。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、前年同期と比べ16億99百万円（22.8%）増の91億38百万円となり、営業利益は2億50百万円（30.2%）増の10億81百万円、経常利益は2億4百万円（24.7%）増の10億31百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億49百万円（26.4%）増の7億13百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりとなります。各金額についてはセグメント間の内部取引を含んだ金額を記載しております。

なお、第1四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で行っております。

#### ①ランプ事業

ランプ事業につきましては、露光光源用ランプの売上が順調に伸びておりますが、プロジェクター用ランプは伸張せず、またLEDを含む一般照明用ランプについては受注が下期に集中したため、全体的に低調な推移となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比10.6%減の15億71百万円となりました。

#### ②製造装置事業

製造装置事業につきましては、大型FPDパネル用の配向膜製造装置の納入に加え、前述の台湾南部地震による設備復旧需要も含め、既設装置のメンテナンス及び改造の受注が大幅に増加しました。露光装置用光源装置については大型FPDパネル用のカラーフィルター製造装置の需要に積極的に対応し、G10用装置を開発、納品しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比46.3%増の57億92百万円となりました。

また、受注は順調に獲得しており、当第2四半期連結会計期間末現在の受注残高は、42億40百万円となっております。

#### ③人材サービス事業

人材サービス事業につきましては、技術者派遣、設計請負及び製造派遣を行っております。技術者派遣、設計請負については、地域密着型の事業のため、スタッフの質的向上、顧客ニーズにあった対応を行い、営業強化を図り安定した業績で推移しました。製造派遣については、国内での雇用環境の影響を受けるため、補完できる業種への営業を推進し、派遣者数の増加に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比3.2%増の17億83百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ13億97百万円減少し、105億円となりました。その主な要因は、流動資産のその他に含まれる未収入金が1億20百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が5億86百万円、仕掛品が9億41百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億60百万円減少し、26億4百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産のその他に含まれる機械及び装置が40百万円、土地が63百万円及び投資その他の資産に含まれる投資有価証券が33百万円が減少したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ15億58百万円減少(10.6%減)し、131億4百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ18億68百万円減少し、35億32百万円となりました。その主な要因は、前受金が18億50百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億11百万円減少し、5億6百万円となりました。その主な要因は、長期借入金が1億1百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ19億79百万円減少(32.9%減)し、40億38百万円となりました。

#### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ4億20百万円増加(4.9%増)し、90億65百万円となりました。その主な要因は、剰余金の配当を2億69百万円行った一方、親会社株主に帰属する四半期純利益が7億13百万円あったことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、上述の資産及び負債の減少を受け、前連結会計年度末に比べ10.2ポイント上昇し、69.1%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、5億72百万円の収入(前年同四半期は47億21百万円の収入)となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益10億21百万円、売上債権の減少額(資金の増加)5億86百万円、たな卸資産の減少額(資金の増加)8億18百万円及び前受金の減少額(資金の減少)18億50百万円であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、53百万円の支出(前年同四半期は1億86百万円の支出)となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出94百万円、有形固定資産の売却による収入68百万円及び無形固定資産の取得による支出34百万円であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億80百万円の支出(前年同四半期は26億72百万円の支出)となりました。主な内訳は、長期借入金の返済による支出1億9百万円及び配当金の支払額2億69百万円であります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間において、現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ1億38百万円増加し、32億41百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績を勘案し、平成28年5月6日に公表いたしました平成29年3月期通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成28年11月4日)公表の「平成29年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,158,833	3,297,334
受取手形及び売掛金	4,884,399	4,298,102
商品及び製品	318,558	330,179
仕掛品	2,384,001	1,442,972
原材料及び貯蔵品	487,041	597,889
前渡金	419,213	158,172
その他	246,677	376,120
貸倒引当金	△433	△397
流動資産合計	11,898,292	10,500,374
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	786,162	750,478
土地	860,626	797,599
その他(純額)	535,045	535,088
有形固定資産合計	2,181,835	2,083,166
無形固定資産		
のれん	53,360	42,688
その他	55,695	77,958
無形固定資産合計	109,056	120,647
投資その他の資産		
その他	538,395	464,546
貸倒引当金	△63,834	△63,834
投資その他の資産合計	474,561	400,712
固定資産合計	2,765,452	2,604,526
資産合計	14,663,744	13,104,901

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,417,229	1,563,702
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	219,996	211,663
未払法人税等	289,284	258,785
賞与引当金	286,337	222,408
製品保証引当金	46,931	32,169
前受金	2,294,785	444,718
その他	546,235	499,202
流動負債合計	5,400,800	3,532,649
固定負債		
長期借入金	434,178	332,513
その他	183,719	173,764
固定負債合計	617,897	506,277
負債合計	6,018,697	4,038,927
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,133,177	2,133,177
資本剰余金	2,563,867	2,563,867
利益剰余金	5,047,180	5,491,655
自己株式	△1,211,662	△1,211,662
株主資本合計	8,532,562	8,977,037
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106,374	82,826
その他の包括利益累計額合計	106,374	82,826
新株予約権	6,110	6,110
純資産合計	8,645,047	9,065,973
負債純資産合計	14,663,744	13,104,901



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	7,438,784	9,138,472
売上原価	5,073,545	6,561,043
売上総利益	2,365,239	2,577,429
販売費及び一般管理費	1,534,412	1,495,961
営業利益	830,826	1,081,467
営業外収益		
受取利息	81	119
受取配当金	5,997	8,046
業務受託手数料	11,200	600
雑収入	8,877	4,217
営業外収益合計	26,155	12,983
営業外費用		
支払利息	7,323	6,803
為替差損	3,886	38,230
シンジケートローン手数料	18,171	17,000
雑損失	713	1,396
営業外費用合計	30,095	63,429
経常利益	826,886	1,031,021
特別利益		
固定資産売却益	1,933	—
特別利益合計	1,933	—
特別損失		
固定資産除却損	6,031	204
固定資産売却損	—	9,345
事務所移転費用	6,883	—
特別損失合計	12,915	9,549
税金等調整前四半期純利益	815,904	1,021,471
法人税、住民税及び事業税	263,293	269,698
法人税等調整額	△12,070	37,776
法人税等合計	251,222	307,474
四半期純利益	564,682	713,997
親会社株主に帰属する四半期純利益	564,682	713,997

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	564,682	713,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△646	△23,547
その他の包括利益合計	△646	△23,547
四半期包括利益	564,035	690,449
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	564,035	690,449
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	815,904	1,021,471
減価償却費	110,461	111,774
のれん償却額	10,672	10,672
賞与引当金の増減額(△は減少)	△36,568	△63,929
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,860	△36
製品保証引当金の増減額(△は減少)	10,089	△14,761
受取利息及び受取配当金	△6,078	△8,166
支払利息	7,323	6,803
固定資産売却損益(△は益)	△1,933	9,345
固定資産除却損	6,031	204
売上債権の増減額(△は増加)	724,470	586,297
たな卸資産の増減額(△は増加)	△249,507	818,559
未収入金の増減額(△は増加)	126,478	△120,148
前渡金の増減額(△は増加)	△199,954	261,041
仕入債務の増減額(△は減少)	831	146,472
未払又は未収消費税等の増減額	△109,879	△31,174
未払金の増減額(△は減少)	△256,534	△19,563
前受金の増減額(△は減少)	3,892,003	△1,850,067
その他	46,840	8,455
小計	4,883,788	873,251
利息及び配当金の受取額	6,076	8,167
利息の支払額	△7,294	△6,732
法人税等の支払額	△161,062	△302,093
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,721,508	572,593
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△174,423	△94,801
有形固定資産の売却による収入	2,114	68,941
無形固定資産の取得による支出	△8,767	△34,693
投資有価証券の取得による支出	△71	△71
その他	△5,484	6,935
投資活動によるキャッシュ・フロー	△186,631	△53,689

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,350,000	—
長期借入金の返済による支出	△109,998	△109,998
リース債務の返済による支出	△269	△882
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	1,570	—
配当金の支払額	△213,998	△269,522
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,672,695	△380,403
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,862,181	138,500
現金及び現金同等物の期首残高	1,780,260	3,102,758
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,642,441	3,241,258

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	人材 サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	1,757,846	3,957,685	1,723,252	7,438,784	—	7,438,784
セグメント間の内部売上高 又は振替高	534	1,230	5,670	7,434	△7,434	—
計	1,758,380	3,958,916	1,728,922	7,446,219	△7,434	7,438,784
セグメント利益	51,981	889,052	52,841	993,875	△163,048	830,826

(注) 1 セグメント利益の調整額 △163,048千円には、セグメント間取引消去17,074千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△180,122千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	人材 サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	1,571,117	5,790,173	1,777,180	9,138,472	—	9,138,472
セグメント間の内部売上高 又は振替高	509	2,245	6,662	9,417	△9,417	—
計	1,571,626	5,792,419	1,783,843	9,147,889	△9,417	9,138,472
セグメント利益	20,461	1,174,124	90,261	1,284,847	△203,379	1,081,467

(注) 1 セグメント利益の調整額△203,379千円には、セグメント間取引消去3千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△203,382千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の事業管理区分の変更に伴い、従来「検査装置事業」に含まれていた事業のすべてを「製造装置事業」に移管しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。